

活動カレンダー」を作成させ、活動のめやすとさせた。中には、月の反省や来月の係へ引き継ぎたいことなども含め、自己の活動を振り返ったり、次の月の活動計画作成の材料となるようにした。



新聞作りの実践活動

その結果、計画倒れになることなく、見通しをもつてできるようになり、これまでほぼ一定の内容の単調な繰り返しだった係活動が、ポスター作りなどの広報活動やミニ集会といった活動にまで広がりをみせてきた。また、先月のカレンダーを参考にしながら計画を立てさせたところよりもより良い活動をめざすようになり、活動内容が発展してきた。

その後、それを目につくところに貼ったところ、互いの活動状況を知りましたり、声を掛け合いながら活動を進めるようになってきた。

前よりもより良い活動をめざすようになり、活動内容が発展してきた。また、先月のカレンダーを参考にしながら計画を立てさせたところよりもより良い活動をめざすようになり、活動内容が発展してきた。

この活動を振り返ると、これまでの活動を振り返り、これまでほんの単調な繰り返しだった係活動が、ポスター作りなどの広報活動やミニ集会といった活動にまで広がりをみせてきた。また、先月のカレンダーを参考にしながら計画を立てさせたところよりもより良い活動をめざすようになり、活動内容が発展してきた。

自分の係だけでなく、他の係の活動を知ることによって、来月の活動に意欲をもつとともに、各係が学級生活を楽しくするために頑張っていることも感じ取ることができたようである。

② 活動における教師のかかわり

これまでの活動を振り返ってみると、話合いは活動の一大柱だが、大事な問題点を見過ごしたり、結論が出ず紛糾することがたびたびあった。また、実践活動では何をどうしたらよいか分からずについつい、自分たちの活動に自信がもてずに次第に不活発になつたりする場面が見られた。

そこで、授業では、それぞれの場面をとらえて「方向の示唆」「賞賛」「励まし」を意図的に行つた。

また、実際に当たつても、より良い活動になるように助言したり、自信や活動意欲をもたせるために励ました。

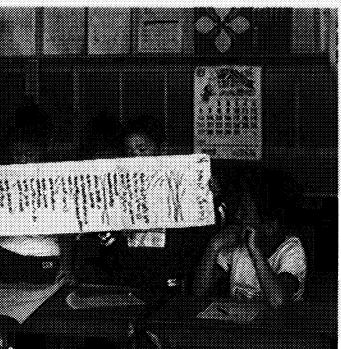
例えば、活動時間内において「次に○○をやりなさい」と教師がすべて指導することは、自主的な児童の育成にはならない。それよりも、

これまでの活動を振り返ってみると、話合いは活動の一大柱だが、大事な問題点を見過ごしたり、結論が出ず紛糾することがたびたびあった。また、実践活動では何をどうしたらよいか分からずについつい、自分たちの活動に自信がもてずに次第に不活発になつたりする場面が見られた。

そこで、授業では、それぞれの場面をとらえて「方向の示唆」「賞賛」「励まし」を意図的に行つた。

また、実際に当たつても、より良い活動になるように助言したり、自信や活動意欲をもたせるために励ました。

例えば、活動時間内において「次に○○をやりなさい」と教師がすべて指導することは、自主的な児童の育成にはならない。それよりも、



発表を通してお互いを認めあう



(1) 活動名「係の内容を見直そう」

児童の自主性を促すことになると考える。

実際の授業においては、意見をまとめるときや決定の段階で「方向の示唆」を与えてやることにより話合いが活発になつた。しかし、助言の機会が遅れ、話合いに深まりが出ない場面もあった。助言は機会をとらえて行なうことが重要である。

③ 活動を認め合う場の設定

本時では、児童がお互いに認め合う場を二か所設定した。

授業内での認め合い

お互いに認め合う場

実践例 II (第六学年)

(2) 授業の構想

六年生になつて係を設置するときに

昨年の反省を踏まえ、みんなの役に立つ係を作り、各自の創意工夫を生かした活動を進めようということで話し合つた。

しかし、学校行事や委員会の仕事などをために時間的制約を受け、進んで活動する係というより、今までの踏襲で進展のない係が目立つようになつた。

しかし、学校行事や委員会の仕事などをために時間的制約を受け、進んで活動する係というより、今までの踏襲で進展のない係が目立つようになつたところやおもしろいところを自由に話し合つてみてはどうかな」というように、児童の考えを引き出し、十分に生かすために、必要なことを助言という形で指導していくことは

員に発表させた。活動や発表の様子などを観点をもつて観察させ、その結果多くの友達を「がんばった」と賞賛することにより、お互いの認め合う姿勢を期待した。名前を呼ばれた者は満足感を味わい、自信をもつてその後の活動を続け、呼ばれなかつた者は一回でも発表しようと積極的に取り組むことが多くなつた。